

越前市道路無雪化事業整備計画  
【後期】

令和6年3月

越前市建設部都市整備課

## 目次

1. 後期計画の目的	1
2. 前期計画の整備状況	
2.1 計画期間	1
2.2 前期計画の整備率(令和5年度末見込み)	1
2.3 前期計画の現時点での検証	2
3. 後期計画の整備方針	
3.1 計画期間	2
3.1 新規整備路線	2
3.2 地下水調査	2
4. 消雪施設の整備路線の選定	3

## 1.後期計画の目的

本市の道路無雪化にあたっては、平成30年12月に改定した整備計画に基づき、消雪ネットワークを形成するための路線について整備を進めてきた。

前期計画においては、平成30年2月の大雪により東西アクセス道路の交通網が麻痺し、市民生活に大きな影響が出たことを受け、東西アクセス道路を重点的に選定し、整備を進めた結果、前期計画路線の整備が概ね完了した。

その一方、消雪ネットワークを形成する上で南北路線の一部において整備が不十分であることから、後期計画においては、前期計画路線やこれまでの整備路線等と形成する消雪ネットワークを補完する主要南北路線について検討し、整備を図る。

また、消雪整備路線の増加に伴い地下水使用量も増加しており、今後の地下水位への影響が懸念されることから、後期計画において現状の地下水状況の調査を行い、将来の地下水への影響を想定し、今後の消雪施設整備のあり方を検討する。

## 2.前期計画の整備状況

### 2.1 計画期間

平成31年度～令和5年度

### 2.2 前期計画の整備率(令和5年度末見込み)

単位:m

前期 路線 番号	路線名	令和5年度末見込み値		
		計画延長 (1)	整備済み (2)	整備率 (2)／(1)
①	市道第4803、5801号線(戸谷片屋線)	2,550	2,550	100 %
②	市道第5803号線	400	0	0 %
③	市道第4806、5802号線	1,500	1,500	100 %
④	市道第2805号線	1,000	430	43 %
⑤	市道第3806外号線(河濯線)	2,050	2,050	100 %
⑥	市道第3904号線(甲楽城線)	840	840	100 %
	合計	8,340	7,370	88 %

※ 機械設備等は延長に含まない

## 2.3 前期計画の現時点での検証

後期計画の検討にあたり、前期計画の消雪施設整備の結果や反映すべき項目について、現時点における検証を行った。

- ・ 平成30年2月の大雪による影響を受け、東西の交通ネットワーク強化を目的に前期計画路線の整備を推進した結果、東西アクセス道路の整備が概ね完了した。
- ・ 消雪ネットワークを形成する上で、南北路線の一部において整備が不十分である。
- ・ 消雪整備路線の増加に伴い地下水使用量が増加しており、将来における地下水位への影響が懸念される。

## 3.後期計画の整備方針

### 3.1 計画期間

令和6年度～令和10年度

### 3.2 新規整備路線

前項2.の検証結果を踏まえ、新規整備路線の選定にあたっては、引き続き厳しい財政状況のもと、限られた予算と期間の中で効率的・効果的な整備を行うために、優先すべき路線を選定することが必要である。また、前期計画と同様に、幹線道路の消雪ネットワークの形成という視点で対応することが重要と考えられる。



#### 【後期】

後期計画路線の選定にあたっては、今までの整備路線及び前期計画路線等と形成する消雪ネットワークを補完する路線が重要であることを踏まえ、下記要件を総合的に判断し、選定することとする。

#### 〈選定要件〉

- ・ 国道・県道・市道の消雪整備済路線を繋ぐ主要南北路線
- ・ 家屋連担
- ・ 行政・防災機能を担う主要な公共公益施設へのアクセス

なお、地域・路線性により効率的に除雪作業が可能な路線については、機械除雪により重点的に対応することとする。

### 3.2 地下水調査

現状の地下水状況の調査を実施し、全体の地下水収支バランスを確認することで、将来の地下水への影響を想定し、今後の消雪施設整備のあり方を検討することとする。

#### 4.消雪施設の整備路線の選定

##### 消雪施設の整備計画路線

計画期間	対象路線	箇所番号	備考
前期	市道第 4803、5801 号線 (都)戸谷片屋線	①	整備済
	市道第 5803 号線	②	未整備 (後期へ)
	市道第 4806、5802 号線	③	継続 (整備中)
	市道第 2805 号線	④	継続 (整備中)
	市道第 3806 外号線 (都)河濯線	⑤	整備済
	市道第 3904 号線 (都)甲楽城線	⑥	整備済
後期	市道第 3807 号線	Ⓐ	新規
	市道第 5803 号線	Ⓑ	継続
	市道第 2803 号線 (都)馬場線	Ⓒ	新規
	地下水調査を実施し、全体の地下水収支バランスを確認することで、将来の地下水への影響を想定し、今後の消雪施設整備のあり方を検討することとする。		

※ 水源確保が困難な場合や消雪水が十分確保できない場合には、路線や施工時期を見直すものとする。

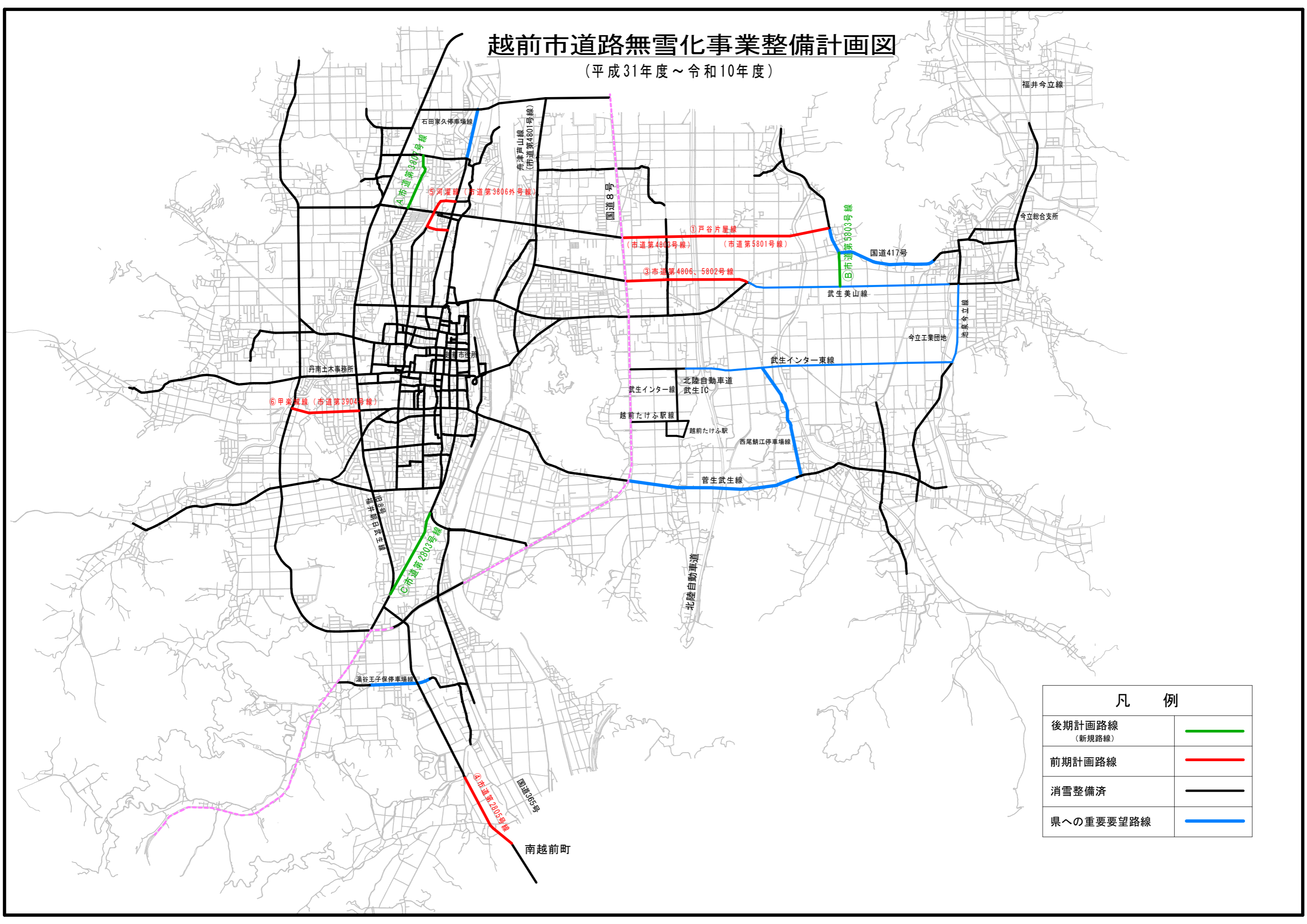
(参考資料) 後期整備路線 無雪化の必要性

【後期】

① 市道第3807号線
(1) 寺武生線と市道第3907号線(消雪整備済)を接続する南北路線 (2) 認定こども園が開園予定であり、送迎等に伴う車両通行の増加が予想され、降雪時の円滑な通行の確保が必要 (3) 路線内で家屋連担区間が多い
② 市道第5803号線
(1) 国道417号と武生美山線を接続する南北路線 (2) 緊急車両の降雪時の円滑な通行を確保(南越消防組合東消防署) (3) 福鉄バスの円滑な通行の確保
③ 市道第2803号線 (都)馬場線
(1) 福井朝日武生線と市道第1807号線(消雪整備済)を接続する南北路線 (2) 並行在来線鉄道の新駅が開業予定であり、通勤・送迎等に伴う車両通行の増加が予想され、降雪時の円滑な通行の確保が必要 (3) 福鉄バスの円滑な通行の確保

# 越前市道路無雪化事業整備計画図

(平成31年度～令和10年度)



凡 例	
後期計画路線 (新規路線)	<span style="color: green;">—</span>
前期計画路線	<span style="color: red;">—</span>
消雪整備済	<span style="color: black;">—</span>
県への重要要望路線	<span style="color: blue;">—</span>